

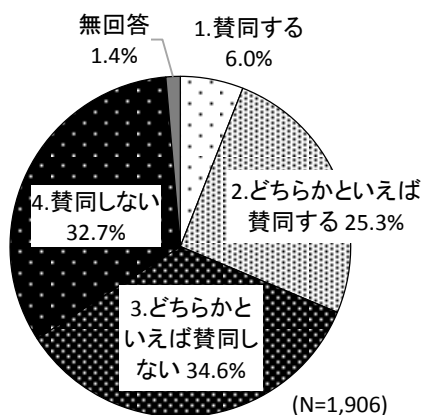
3. 調査結果

※『性別』と『年齢別かつ性別』の集計については、「3. ()」の母数(N)が少ないことから、「1. 女性」及び「2. 男性」に関する分析のみ行っている。

(1) 男女平等観などについて

問7 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

「1. 賛同する」と「2. どちらかといえば賛同する」を合わせた『賛同する』は31.3%、「4. 賛同しない」と「3. どちらかといえば賛同しない」を合わせた『賛同しない』は67.3%であった。

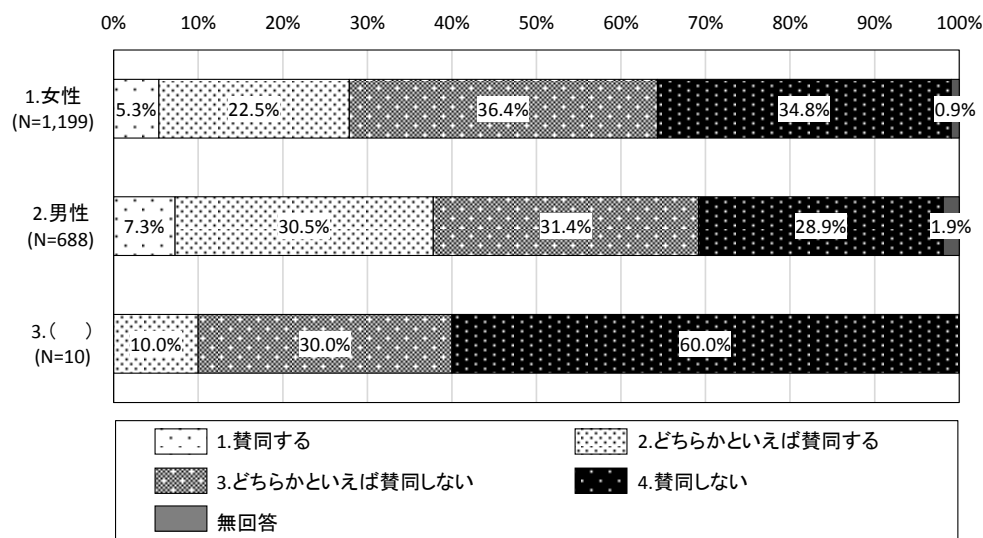


3 調査結果
男女の平等観などについて

性別

「1. 賛同する」と「2. どちらかといえば賛同する」を合わせた『賛同する』は、女性が27.8%、男性が37.8%であり、女性より男性の方が肯定的な考えを持っている人が多い。

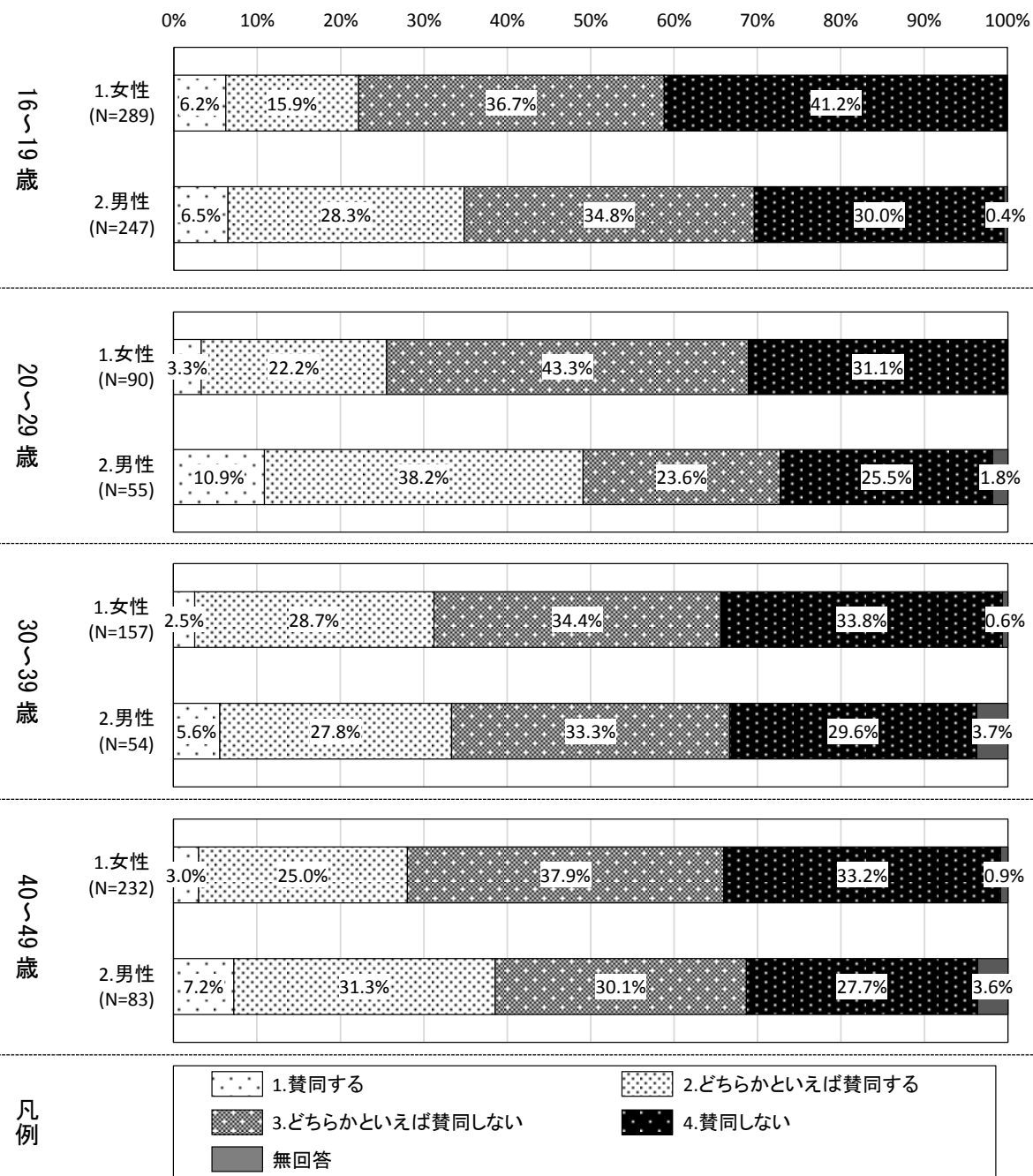
一方で、「4. 賛同しない」と「3. どちらかといえば賛同しない」を合わせた『賛同しない』は、女性が71.2%、男性が60.3%であり、男性より女性の方が否定的な考えをもっている人が多い。



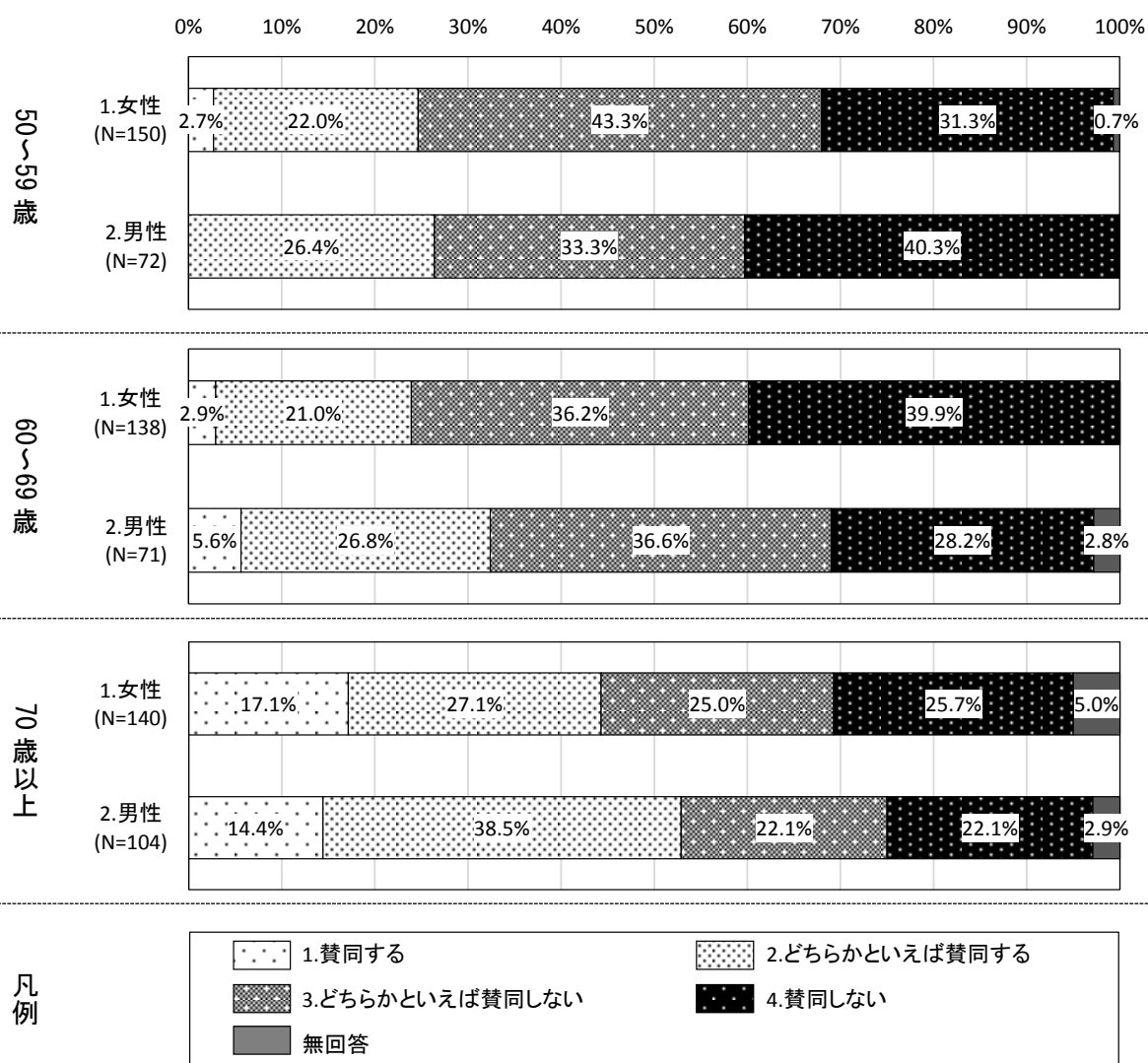
年齢別かつ性別

女性と男性で意識が最も大きく異なる年齢層は20～29歳、次いで16～19歳であり、特に若い世代において意識の差が大きくなっている。

また、50～59歳では、女性の74.6%、男性の73.6%が否定的な考えをもっており、女性・男性ともに否定的な考えを持っている人が多い。



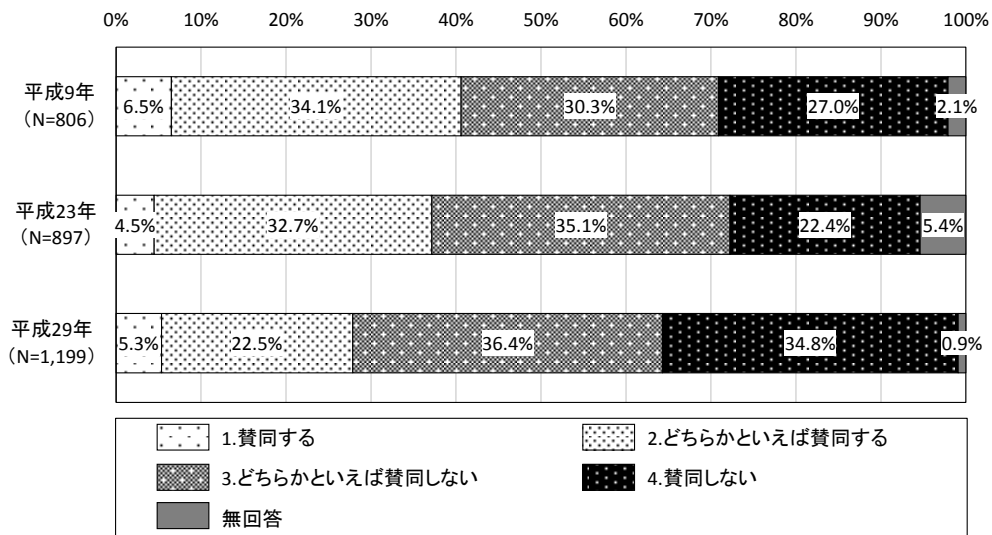
3 調査結果
男女の平等観などについて



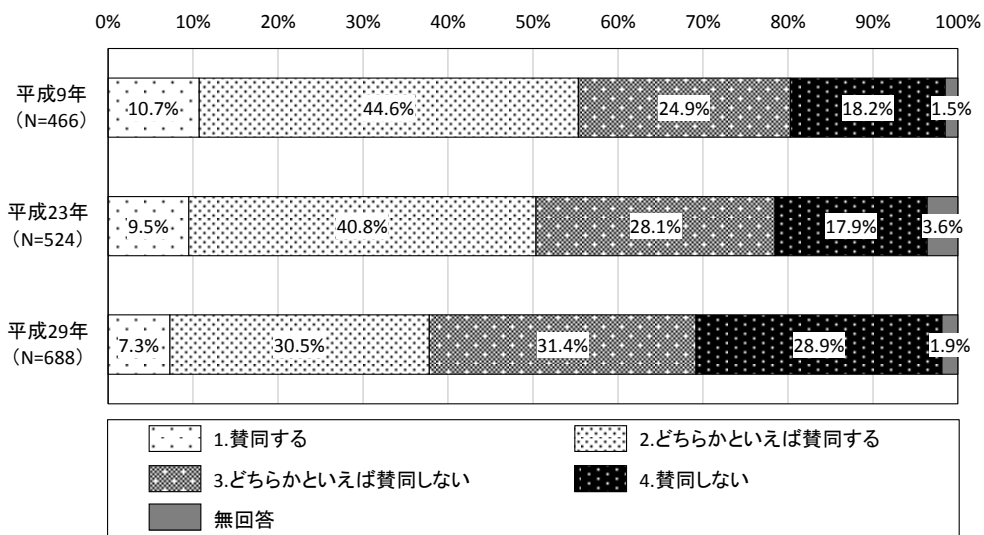
【過年度調査との比較】

「1. 賛同する」と「2. どちらかといえば賛同する」を合わせた『賛同する』の割合は、男女ともに減少傾向であり、平成9（1997）年と平成29（2017）年を比較すると、女性は12.8ポイント、男性は17.5ポイント減少している。

《女性》



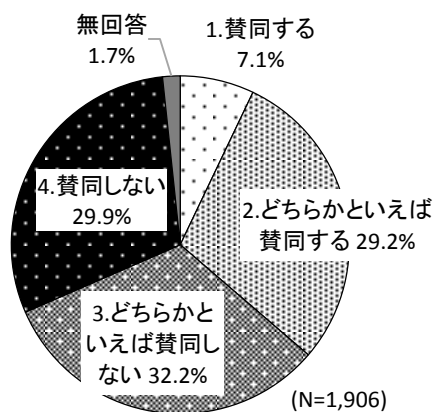
《男性》



3 調査結果
男女の平等観などについて

問8 例えば「力持ちで男らしい」や「おとなしくて女らしい」、もしくは「男のくせに泣くな」や「女のくせに愛想がない」など、「男は男らしく」「女は女らしく」というような考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

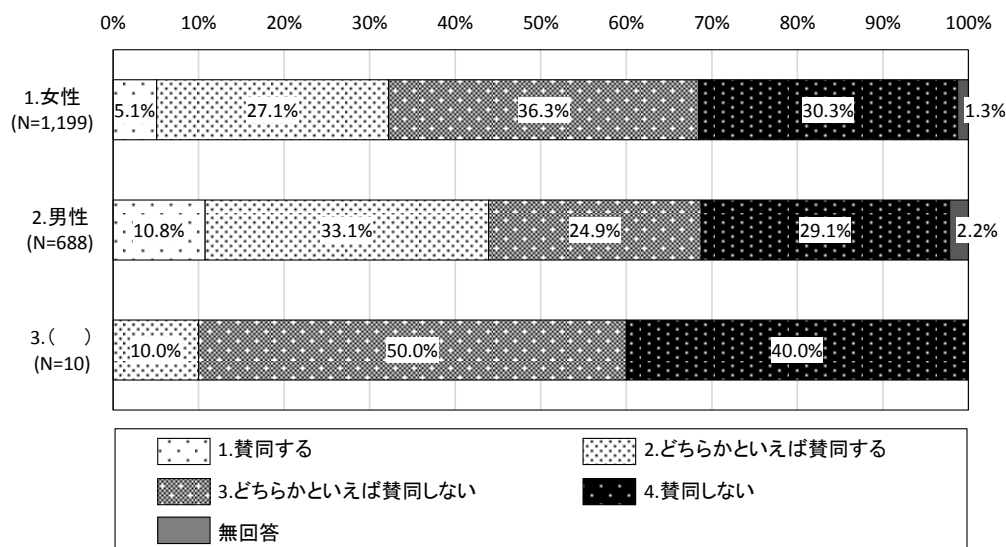
「1. 賛同する」と「2. どちらかといえば賛同する」を合わせた『賛同する』は36.3%、「4. 賛同しない」と「3. どちらかといえば賛同しない」を合わせた『賛同しない』は62.1%であった。



性別

「1. 賛同する」と「2. どちらかといえば賛同する」を合わせた『賛同する』は、女性が32.2%、男性が43.9%であり、女性より男性の方が肯定的な考えを持っている人が多い。

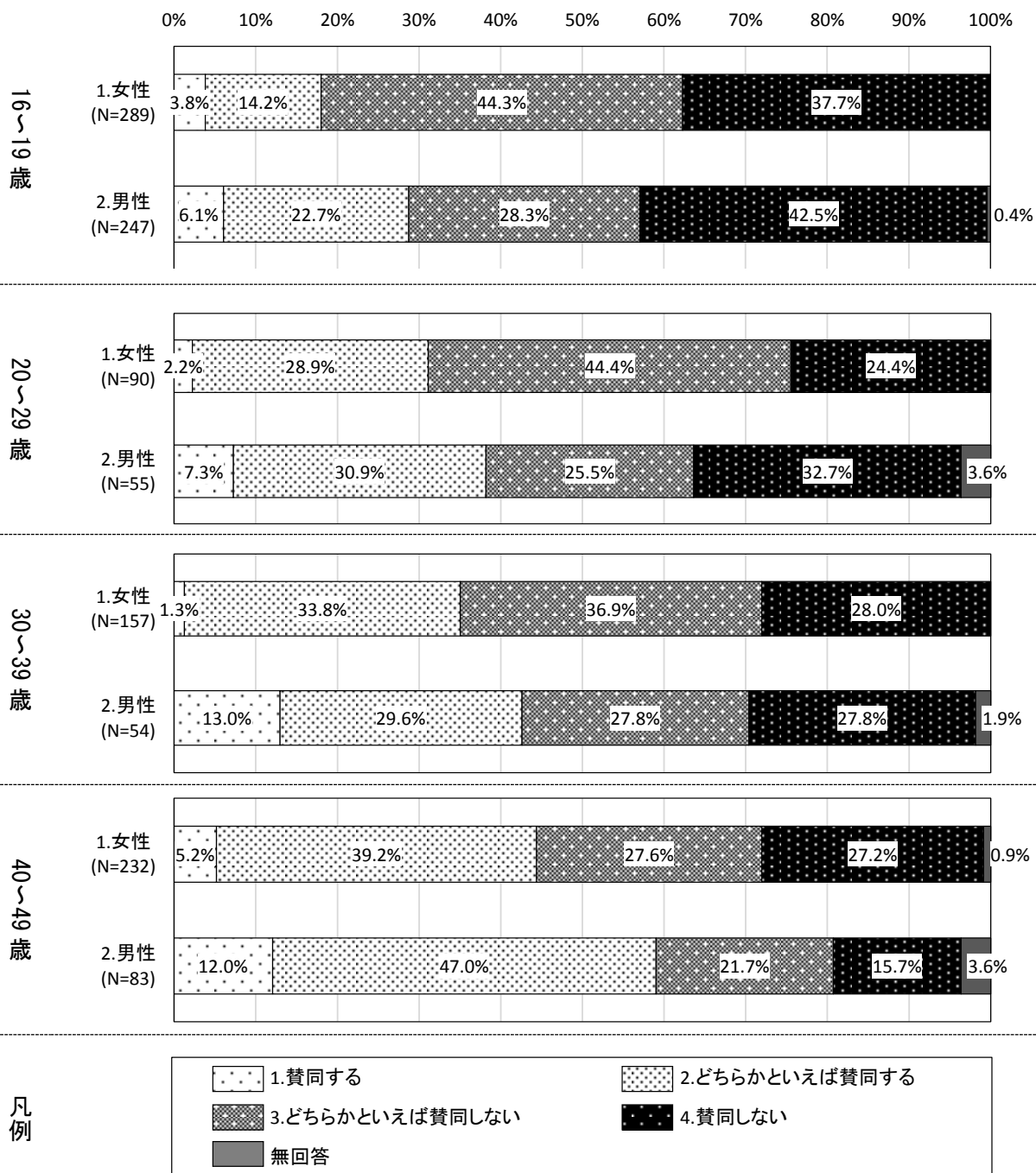
一方で、「4. 賛同しない」と「3. どちらかといえば賛同しない」を合わせた『賛同しない』は、女性が66.6%、男性が54.0%であり、男性より女性の方が否定的な考えをもっている人が多い。



年齢別かつ性別

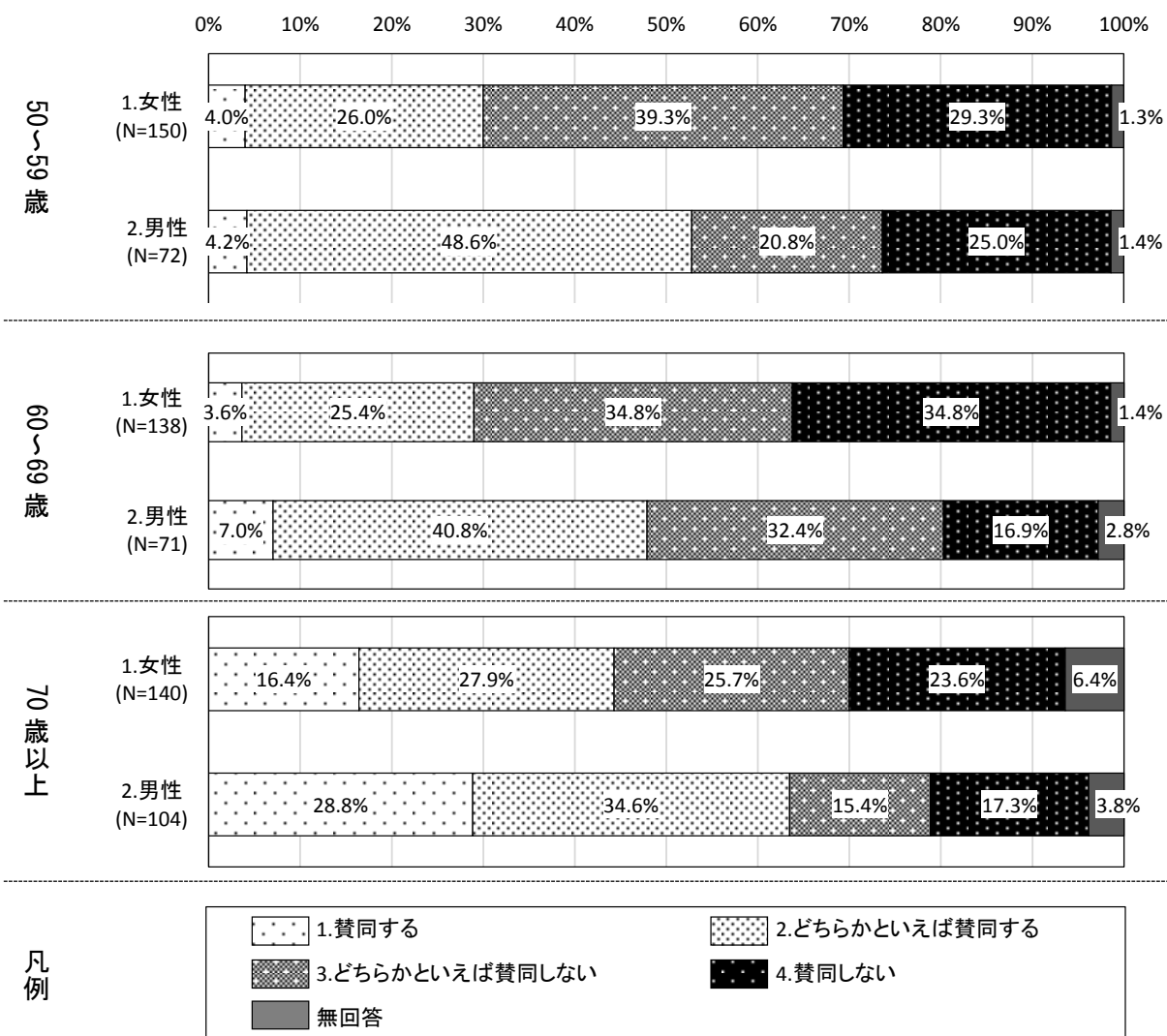
女性と男性で意識が最も大きく異なる年齢層は 50～59 歳、次いで 70 歳以上、60～69 歳であった。

また、16～19 歳では、女性の 82.0%、男性の 70.8%が否定的な考えをもっており、女性、男性ともに否定的な考えを持っている人が多い。



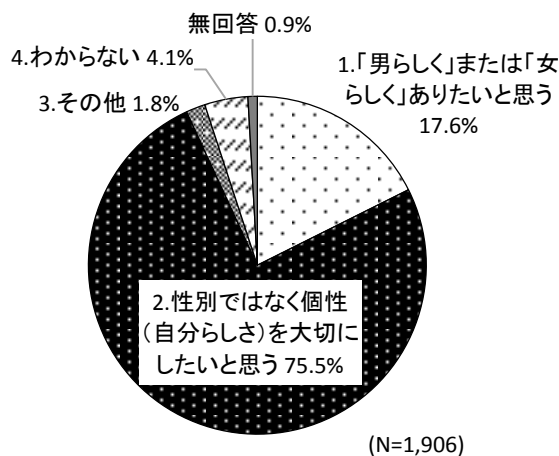
3 調査結果

男女の平等観などについて



問9 あなた自身はどのようにありたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「2. 性別ではなく個性（自分らしさ）を大切にしたいと思う」が最も多く 75.5%、次いで「1. 「男らしく」または「女らしく」ありたいと思う」が 17.6%であった。



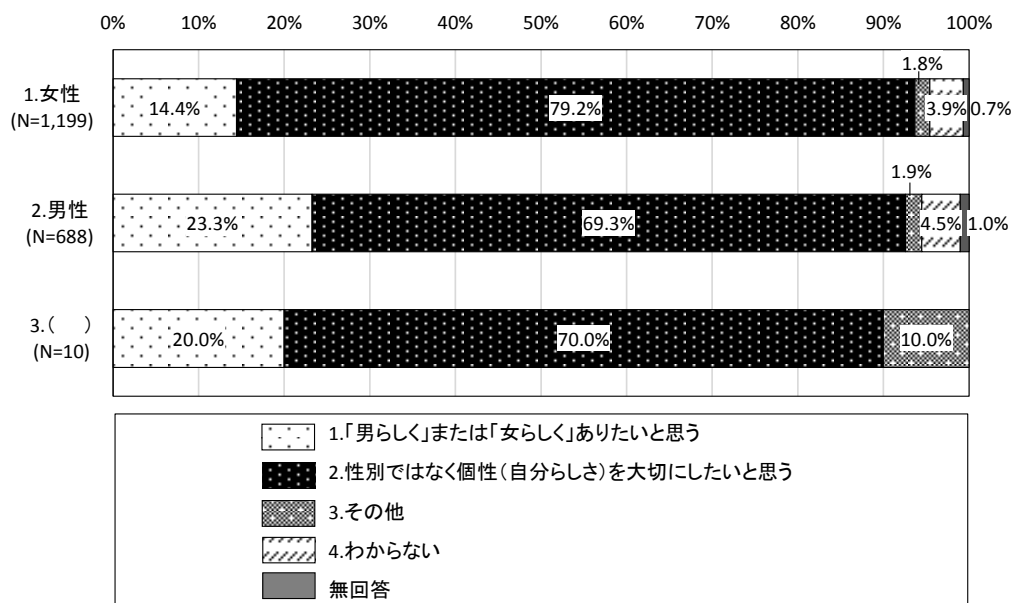
「9. その他」の回答

- ・個性は重んじつつ、女性のマナーは大切にしたい
- ・自然体でありたい。
- ・自分がありたいようにあればそれでいいと思う。自分らしさより決めつけられなければそれでいい。 等

性別

男女ともに「2. 性別ではなく個性（自分らしさ）を大切にしたいと思う」が最も多く、次いで「1. 「男らしく」または「女らしく」ありたいと思う」であった。

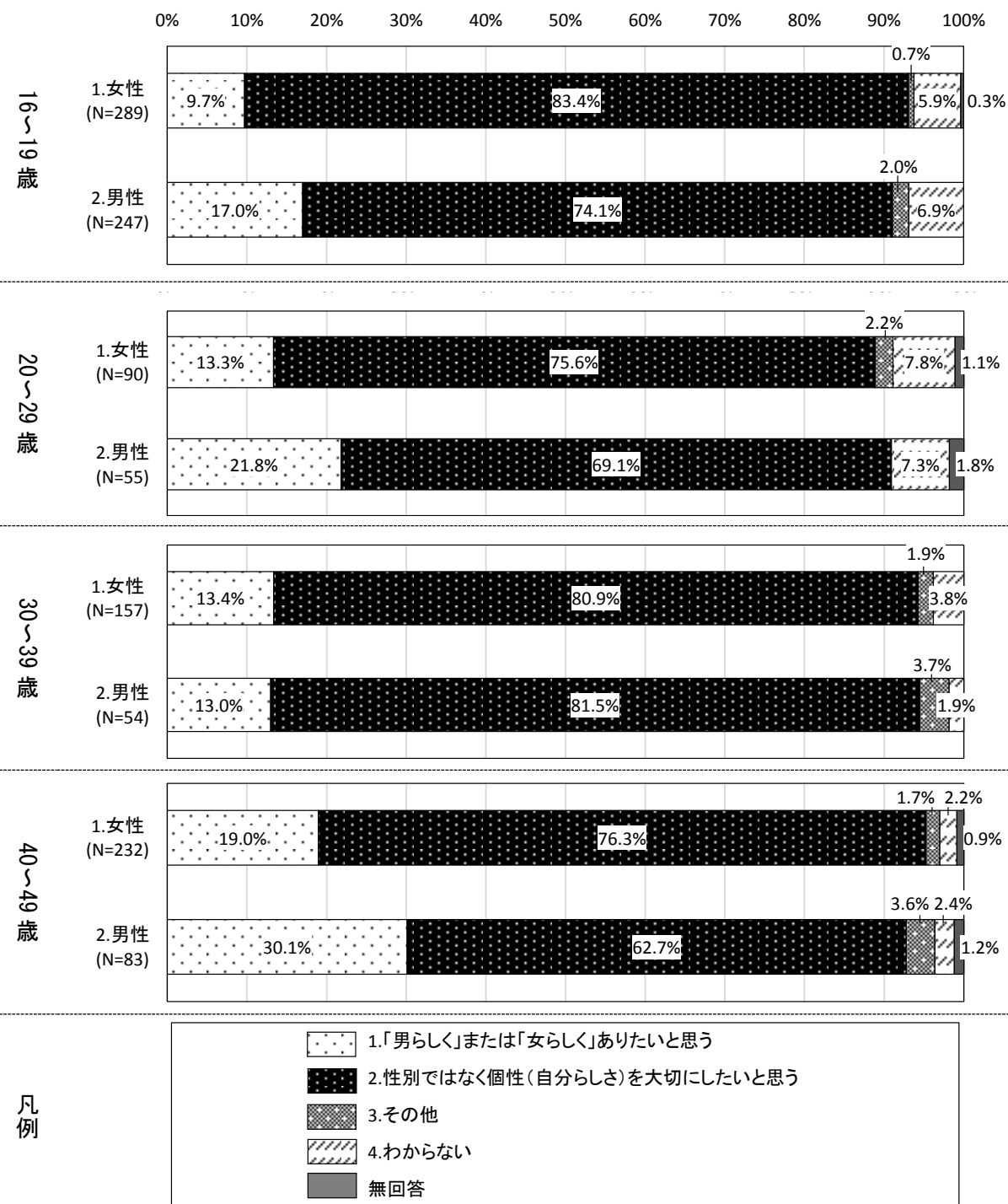
なお、「2. 性別ではなく個性（自分らしさ）を大切にしたいと思う」は、男性より女性の割合が多くなっている。



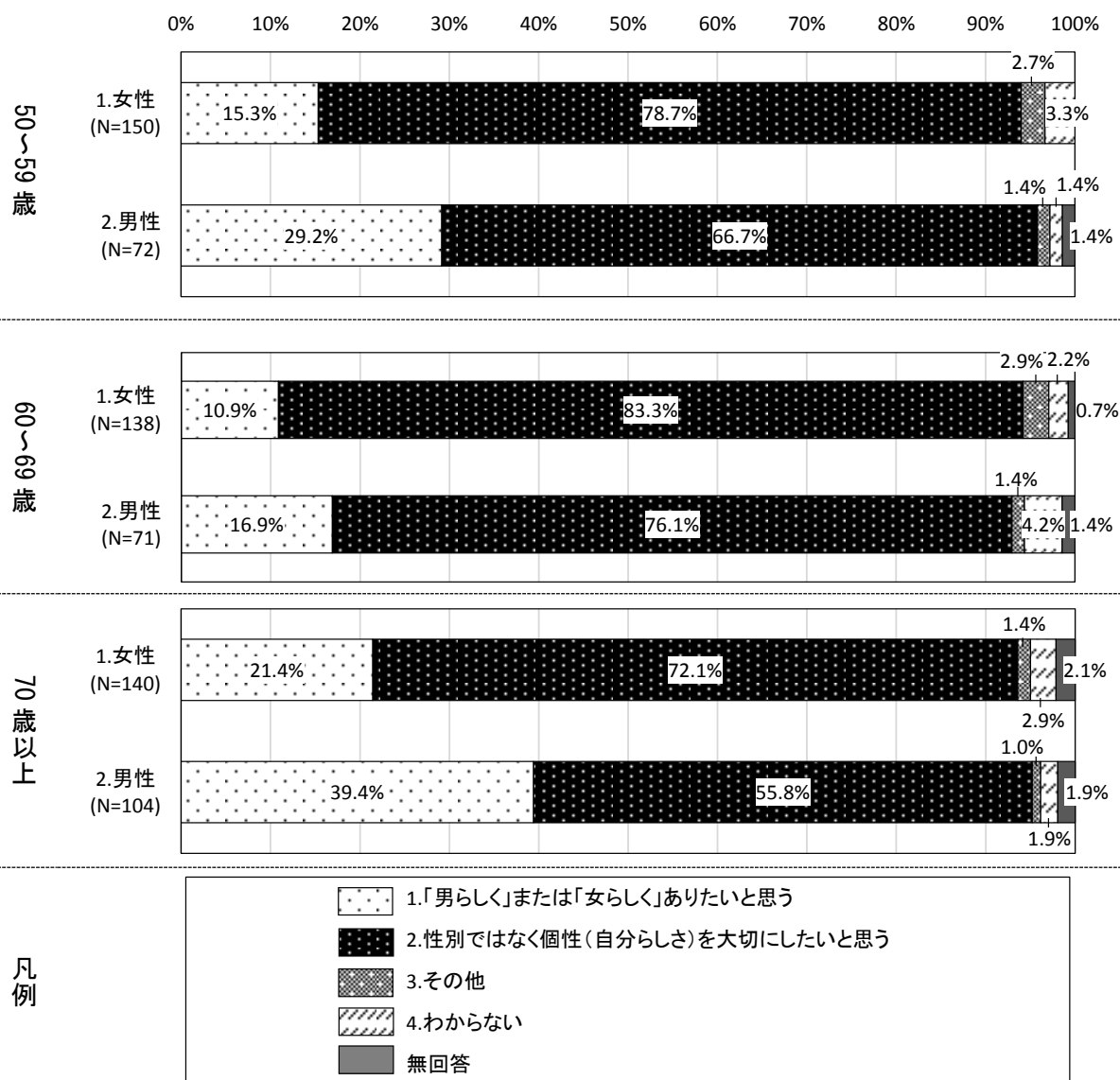
年齢別かつ性別

いずれも「2. 性別ではなく個性（自分らしさ）を大切にしたいと思う」が最も多く、次いで「1. 「男らしく」または「女らしく」ありたいと思う」であった。

また、「2. 性別ではなく個性（自分らしさ）を大切にしたいと思う」は、30～39歳を除いて、いずれの年齢層でも男性より女性の割合が多く、女性と男性で意識が大きく異なる年齢層は70歳以上であった。



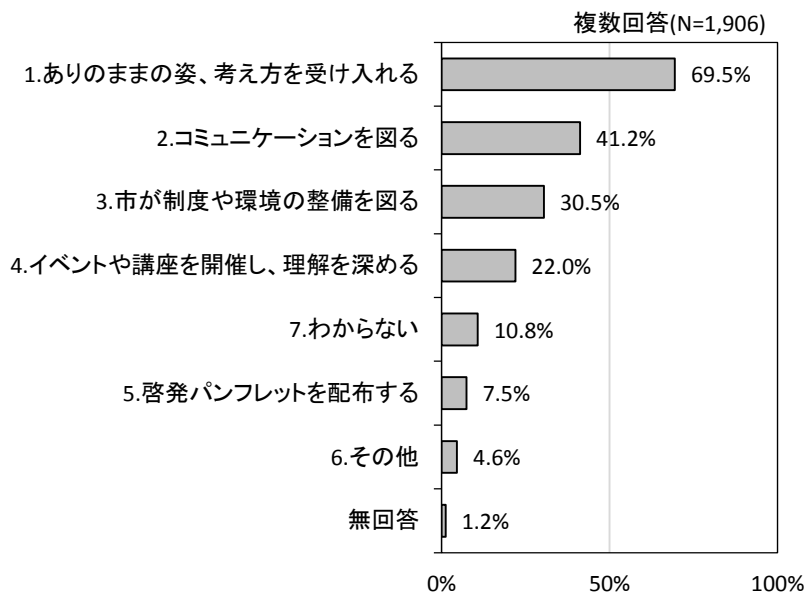
3 調査結果
男女の平等観などについて



問10 あなたは、セクシュアルマイノリティ※（性的少数者）に対する偏見がなくなり、生活しやすくなるためにはどうすべきだと思いますか。（優先的にすべきもの3つまでに○）

※セクシュアルマイノリティ：性的指向が異性ではない方や心と体の性別に違和感がある方などのこと。

「1. ありのままの姿、考え方を受け入れる」が最も多く 69.5%、次いで「2. コミュニケーションを図る」が 41.2%、「3. 市が制度や環境の整備を図る」が 30.5%であった。



「6. その他」の回答

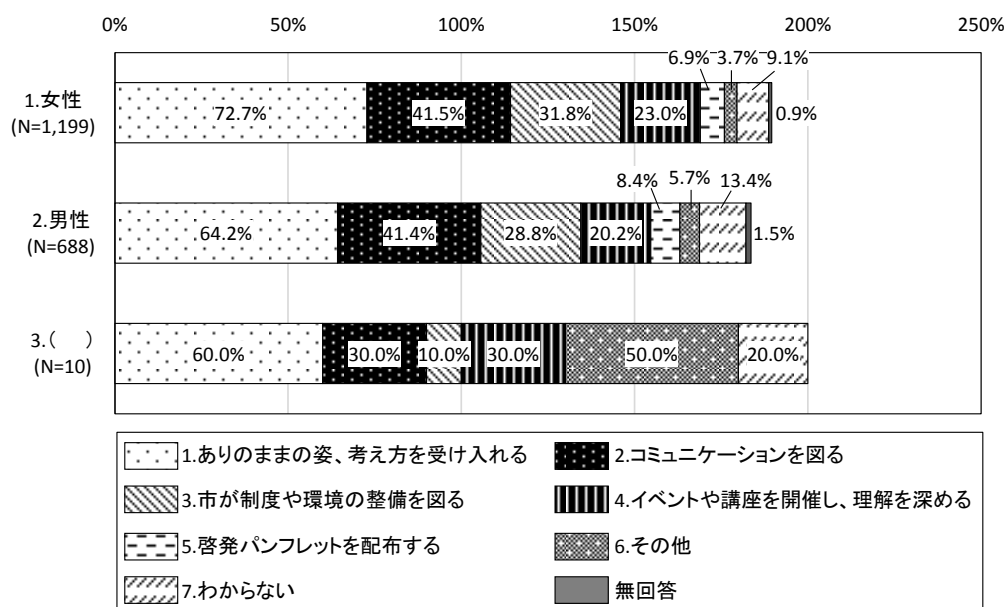
- ・テレビなどで社会的にもっと取り上げる。
- ・パートナー制度などが広まればいいと思う。
- ・子どもの頃から、違いを受け入れる心の土壌をつくる。
- ・反対です。セクシャルマイノリティは認めたくない。 等

3 調査結果
男女の平等観などについて

性別

男女ともに「1. ありのままの姿、考え方を受け入れる」が最も多く、次いで「2. コミュニケーションを図る」であった。

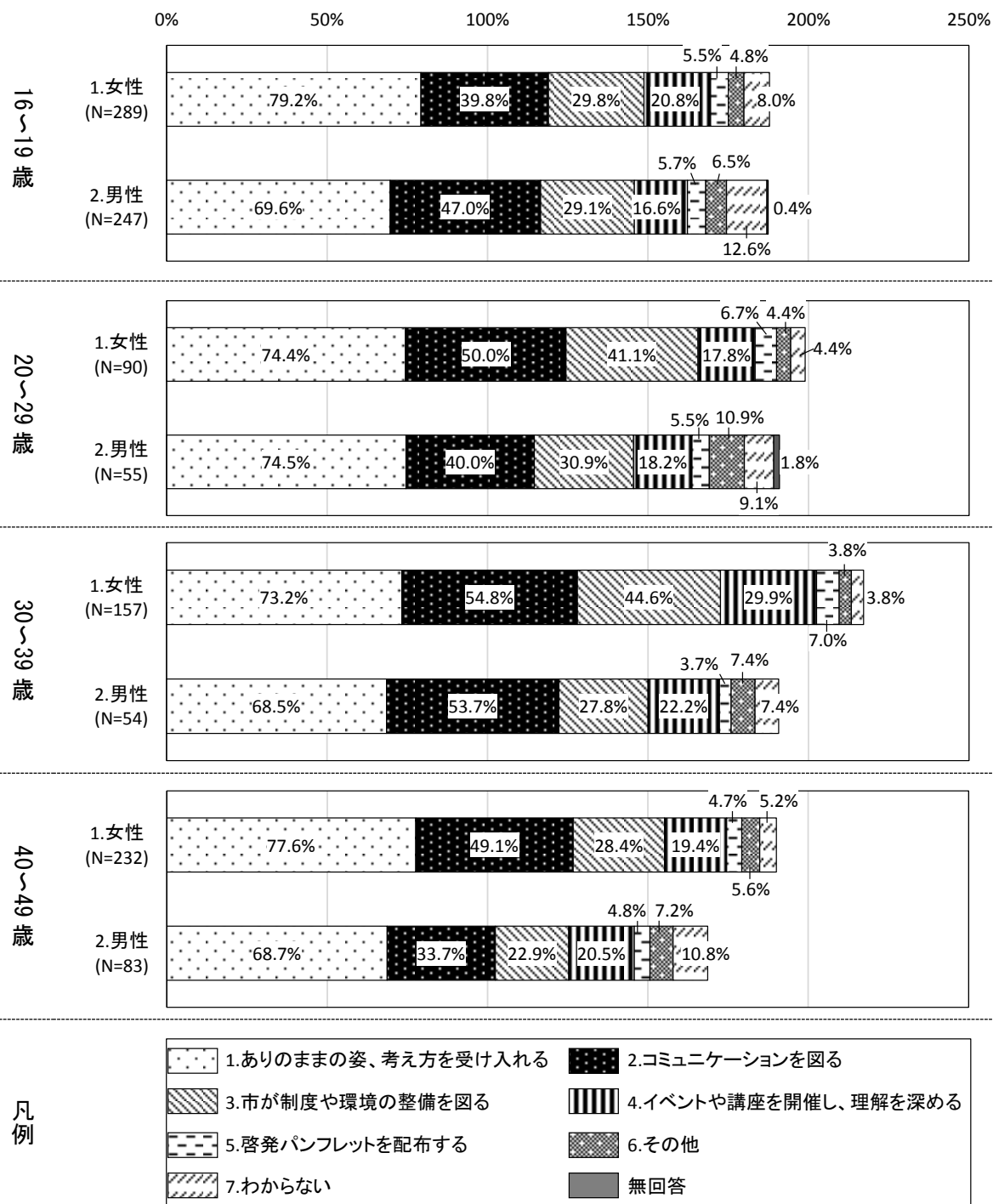
なお、「1. ありのままの姿、考え方を受け入れる」は、男性より女性の割合が多くなっている。



年齢別かつ性別

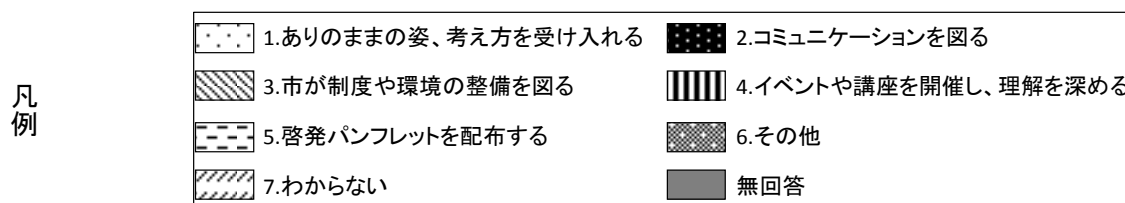
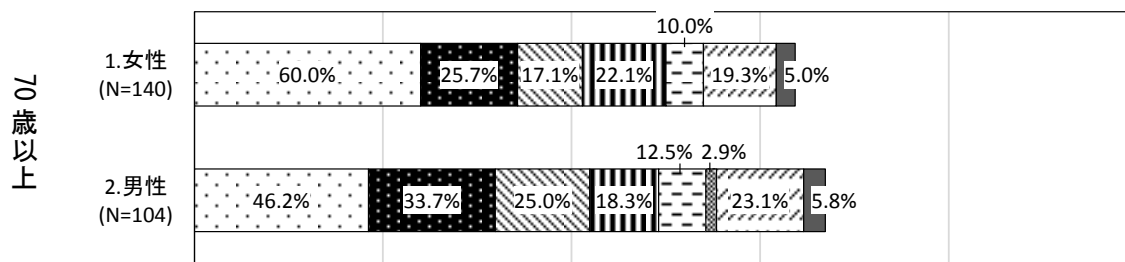
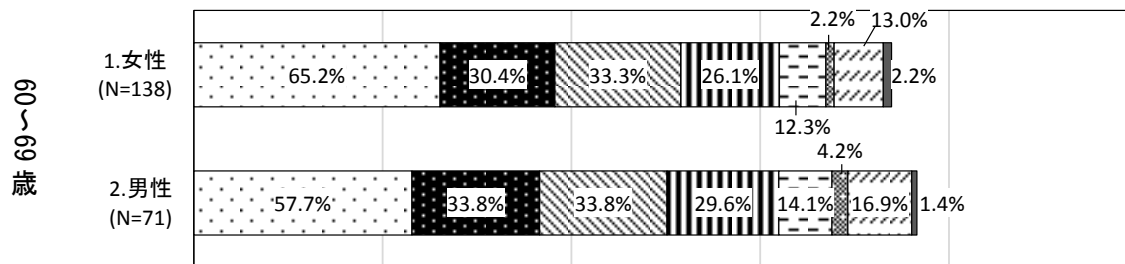
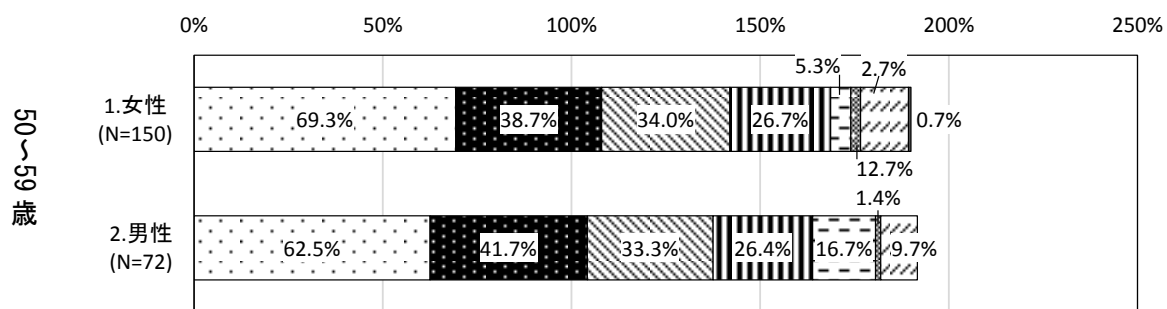
いずれも「1. ありのままの姿、考え方を受け入れる」が最も多くなっている。

また、「1. ありのままの姿、考え方を受け入れる」は、20～29歳を除いて、いずれの年齢層でも男性より女性の割合が多く、女性と男性で意識が大きく異なる年齢層は70歳以上であった。



3 調査結果

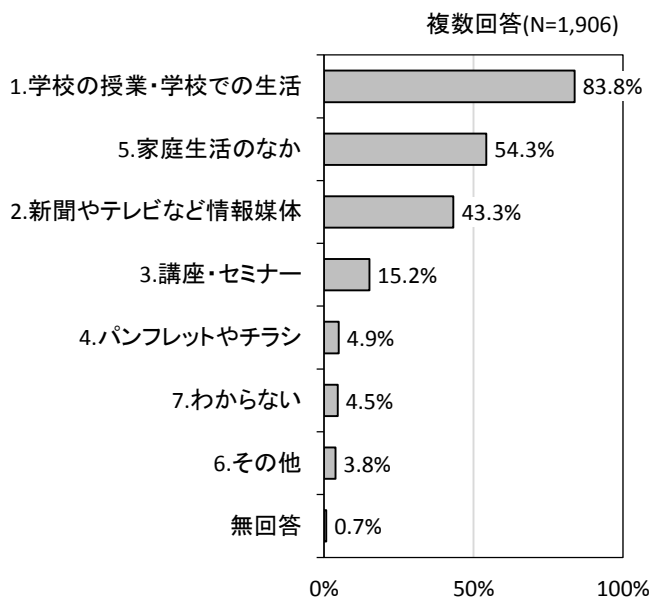
男女の平等観などについて



問 11 あなたは、男女共同参画社会[※]について、子どもたちが何を通して学ぶとよいと思いますか。(特によいと思うもの3つまでに○)

※男女共同参画社会：女性も男性も、性別にかかわらず、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会。

「1. 学校の授業・学校での生活」が最も多く 83.8%、次いで「5. 家庭生活のなか」が 54.3%、「2. 新聞やテレビなど情報媒体」が 43.3%であった。



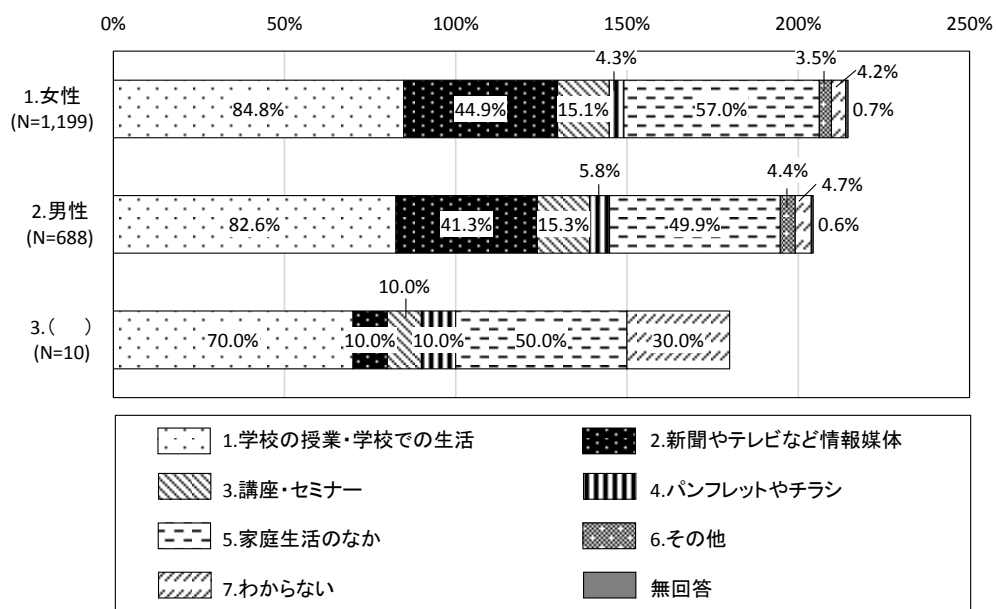
「6. その他」の回答

- ・ SNS, インターネット。
- ・ 会社訪問や事業所訪問の機会を設ける。
- ・ 親だけの意見では偏りが出てしまうため第三者を混えて親子の考え方を变えていける参加型の場。 等

性別

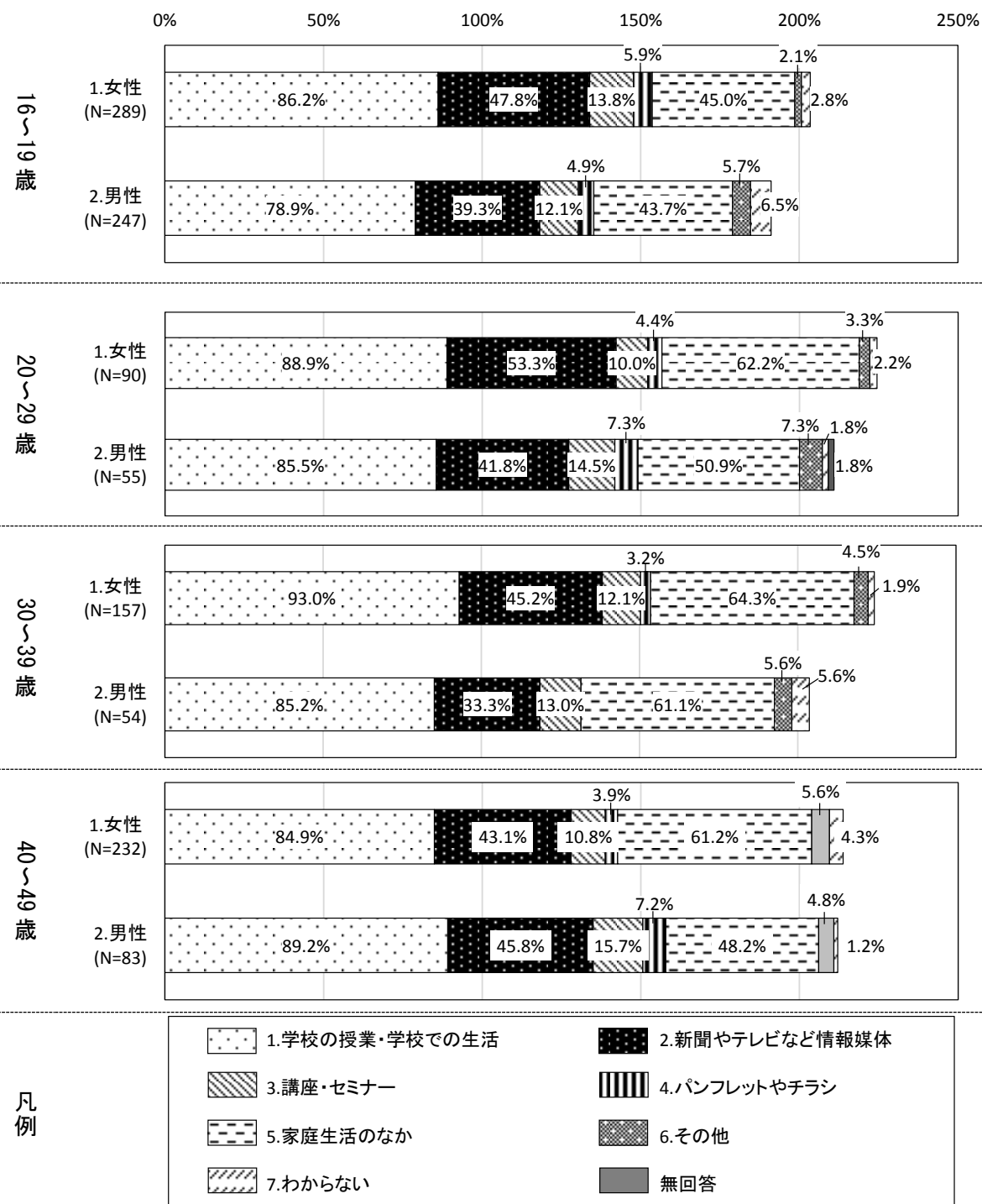
男女ともに「1. 学校の授業・学校での生活」が最も多く、次いで「5. 家庭生活のなか」であった。

なお、「1. 学校の授業・学校での生活」は、男性より女性の割合が多くなっている。

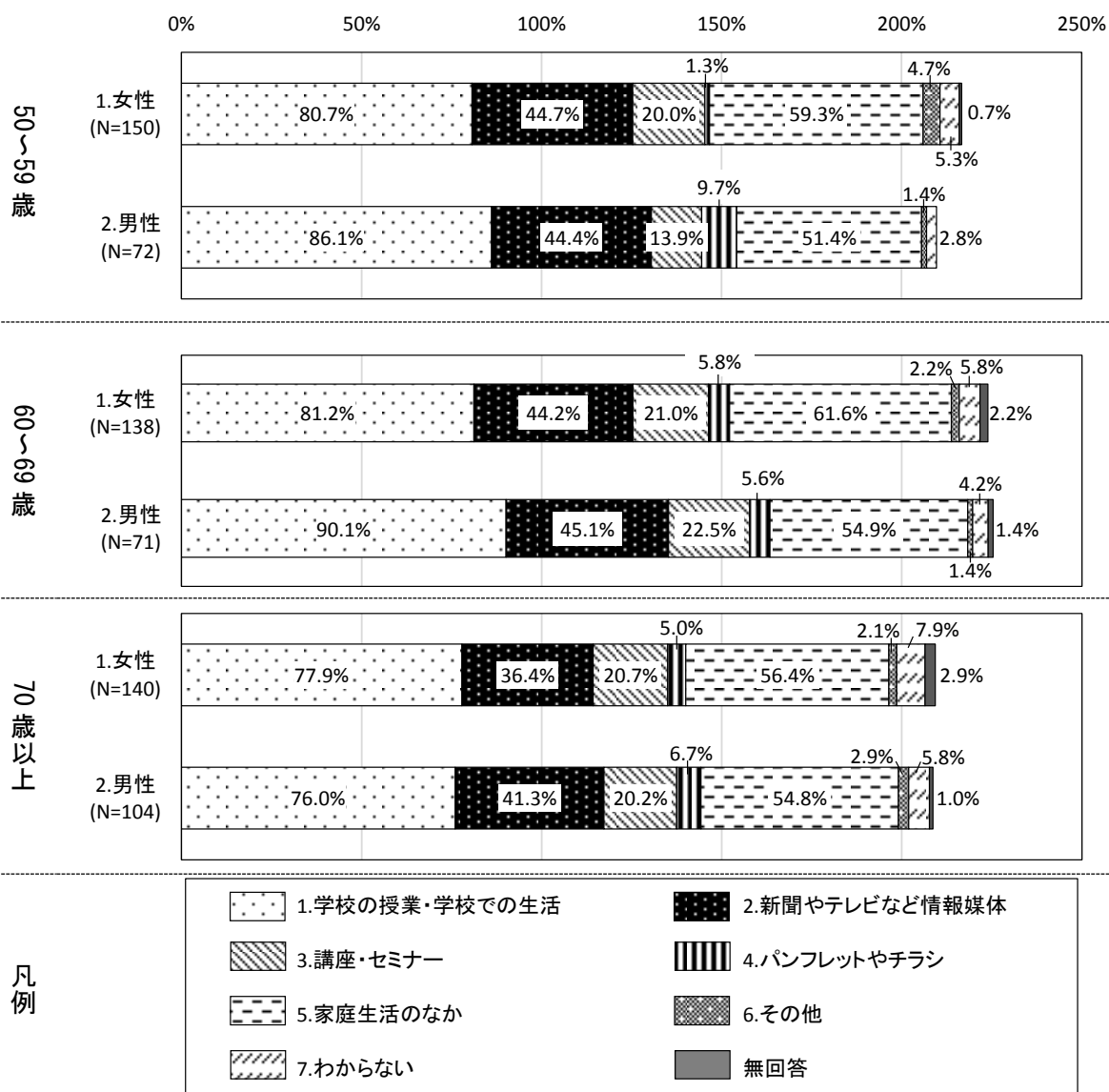


年齢別かつ性別

いずれも「1. 学校の授業・学校での生活」が最も多くなっている。



3 調査結果
男女の平等観などについて



3 調査結果
男女の平等観などについて